

令和5年度 第 4 回

希望郷いわてモニターアンケート

<p>課題名</p>	<p>岩手県知事及び岩手県議会議員選挙の 広報事業に関する意識調査結果</p>
------------	---

岩手県選挙管理委員会事務局

# 岩手県知事及び岩手県議会議員選挙の広報事業に関する意識調査について

岩手県選挙管理委員会

## I アンケート調査の概要

### 1 調査の趣旨

近年、国政・地方選挙における投票率は、全国的に低下傾向にあり、岩手県においても投票率は低下傾向にあります。このため、岩手県選挙管理委員会では、国政選挙や知事・県議会議員選挙の都度、有権者に向けて、選挙期日等の周知をはじめとする投票率向上に向けた広報活動に取り組んでいるところです。

令和5年9月3日に執行された岩手県知事及び岩手県議会議員選挙（以下、「知事・県議選」といいます。）においても、有権者の積極的な投票参加を促進するため、「岩手を語ろう。」をキャッチフレーズとして、別添デザインを基本としたポスター、チラシ、テレビCMやSNS広告等を作成して広報活動に取り組みました。

本調査は、知事・県議選において実施した広報事業の実施効果を把握し、より効果的な事業の実施に役立てるために、希望郷いわてモニターの皆様の御意見をお伺いしたものです。

---

### 2 調査期間

令和5年9月13日から同年9月27日

### 3 調査方法

調査票郵送及びインターネット

### 4 調査対象

令和4、5年度希望郷いわてモニター 197名

### 5 回答者数

147名（回答率74.6%）

### 6 回答者属性

#### (1) 年齢別回答者数（人）

①20歳～24歳	25歳～29歳	③30歳～39歳	④40歳～49歳	⑤50歳～59歳	⑥60歳～69歳	⑦70歳以上
4	4	18	18	27	36	40

#### (2) 性別（人）

①男性	②女性	③その他	④答えたくない	無回答
70	74	0	2	1

#### (3) 職業別回答者数（人）

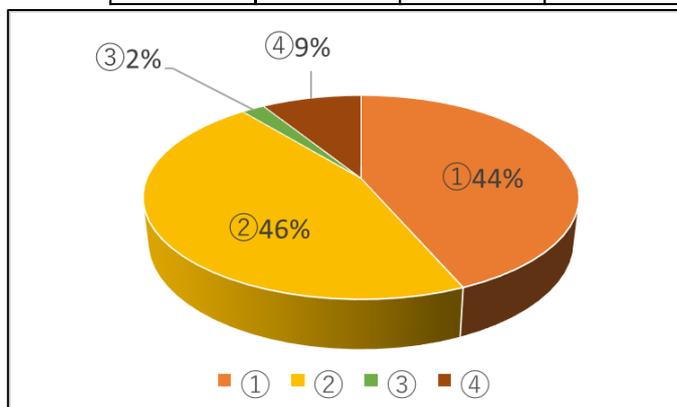
①会社経営 ・役員	②会社員	③団体職員	④自営業 ・自由業	⑤農林水産業	⑥パート ・アルバイト	⑦主婦（夫）
6	26	12	16	9	19	20
⑧学生	⑨無職	⑩その他				
1	32	6				

## Ⅱ アンケート調査結果

問1 あなたは、「知事・県議選」で投票に行きましたか。

- ①投票日（9月3日）に投票した
- ②期日前投票をした
- ③不在者投票をした
- ④投票に行かなかった

①	②	③	④
64	67	3	13

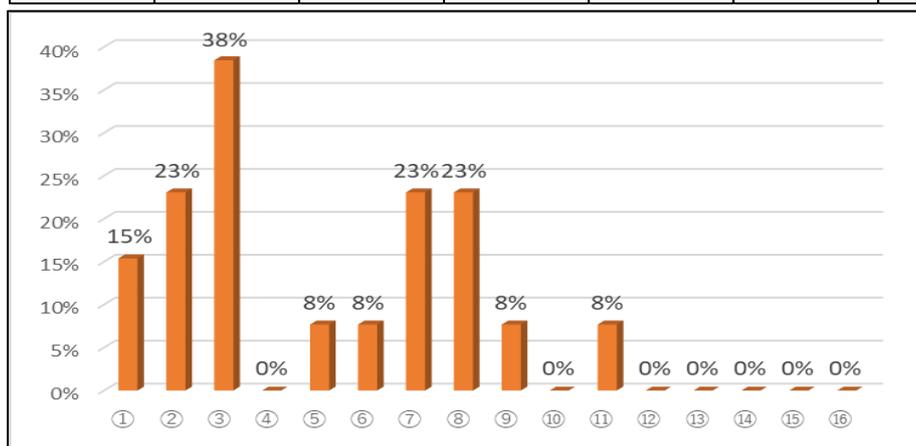


問2 問1で「④投票に行かなかった」と回答した方にお伺いします。

投票しなかった理由のうち当てはまるものを全てお選びください。

- ①仕事があったから ②重要な用事（仕事を除く）があったから ③体調がすぐれなかったから
- ④投票所が遠かったから ⑤今住んでいる所に選挙権がないから ⑥選挙にあまり関心がなかったから
- ⑦政党の政策や候補者の人物像など、違いがよく分からなかったから
- ⑧適当な候補者も政党もなかったから ⑨支持する政党の候補者がいなかったから
- ⑩私一人が投票しなくても同じだから
- ⑪自分のように政治のことが分からない者は投票しない方がいいと思ったから
- ⑫選挙によって政治はよくなると思ったから
- ⑬マスコミの事前予測を見て、投票に行く気がなくなったから
- ⑭天候が悪かったから（暑すぎた、雨だったなど）
- ⑮分からない
- ⑯その他（ ）

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
2	3	5	0	1	1	3	3
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1	0	1	0	0	0	0	0



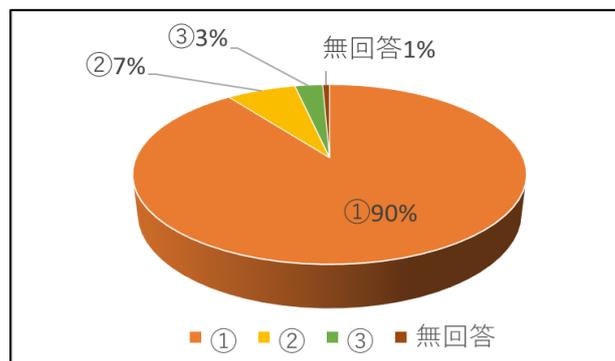
※回答対象者 13 名  
が各項目を選択した割合

問3 あなたは、以下に記載した過去の国政・地方選挙について、投票に行きましたか。

(1) H29. 10. 22 衆院選

①投票に行った ②投票に行かなかった ③選挙権がなかった

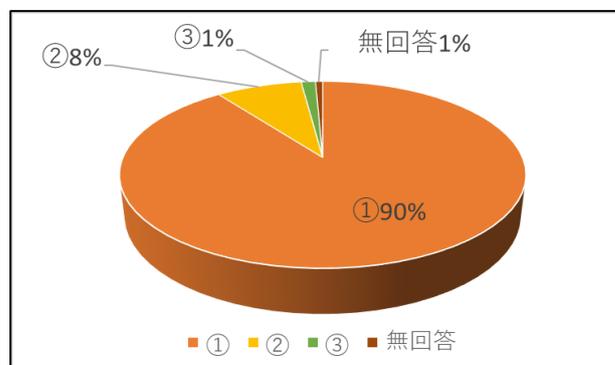
①	②	③	無回答
132	10	4	1



(2) R1. 7. 21 参院選

①投票に行った ②投票に行かなかった ③選挙権がなかった

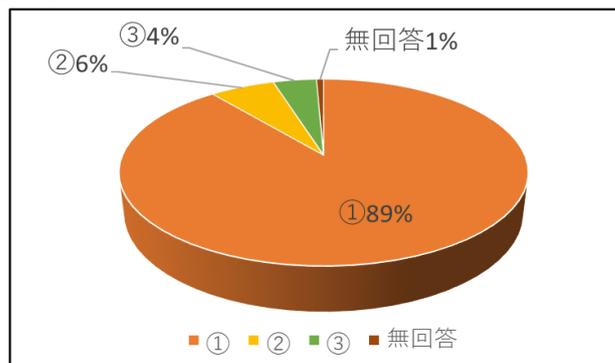
①	②	③	無回答
132	12	2	1



(3) R1. 9. 8 岩手県知事・県議選

①投票に行った ②投票に行かなかった ③選挙権がなかった

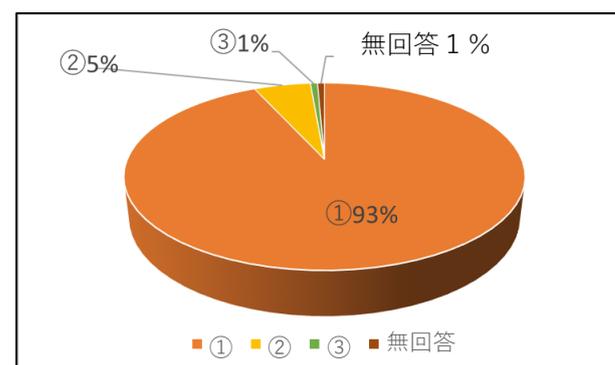
①	②	③	無回答
131	9	6	1



(4) R3. 10. 31 衆院選

①投票に行った ②投票に行かなかった ③選挙権がなかった

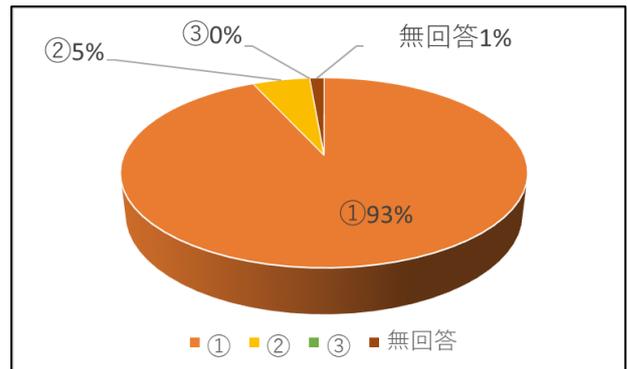
①	②	③	無回答
137	8	1	1



(4) R4. 7.10 参院選

①投票に行った ②投票に行かなかった ③選挙権がなかった

①	②	③	無回答
137	8	0	2

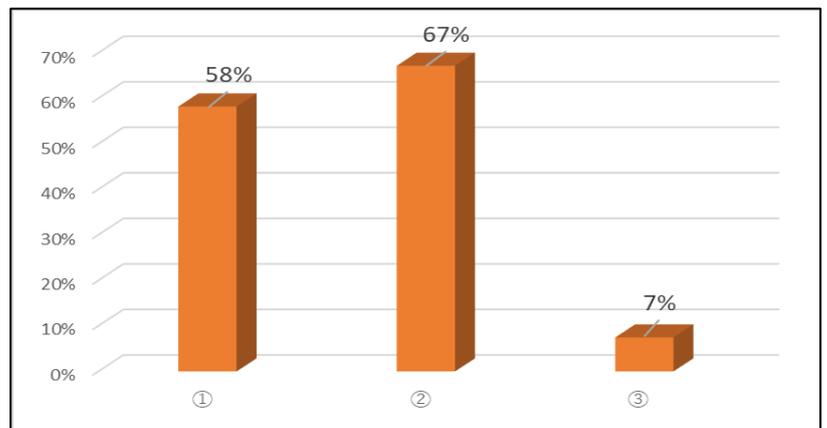


問4 問1で「期日前投票をした」と回答した方にお伺いします。

期日前投票をした理由のうち、当てはまるものを全てお選びください。

- ①投票日（9月3日）当日、仕事や用事等があったから
- ②指定の投票所よりも期日前投票所の方が利用しやすかったため
- ③その他（ ）

①	②	③
39	45	5



※回答対象者 67 名が各項目を選択した割合

<③その他の回答内容>

- 期日前投票所は知らない人ばかりで気楽で大変良いです。
- 空いている時間に都合よく行って、混まないのが早く済むため
- 体調が悪かったので、当日の人混みは避けたかったから
- 買物ついでに投票できてよかった。当日悪天候だったら行けないと思ったから
- 期日前投票と不在者投票を区別する必要はないと思いますが！！

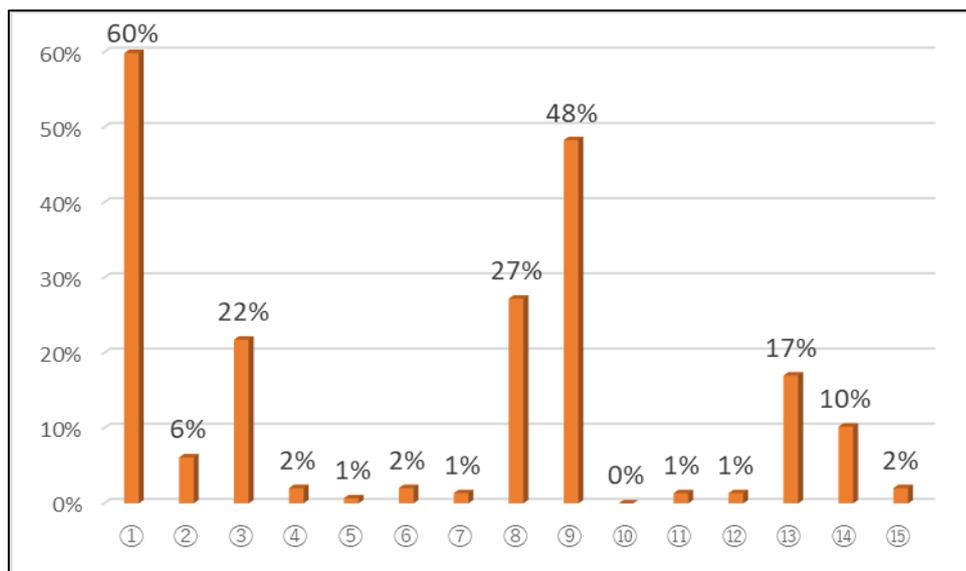
問5 岩手県選挙管理委員会等が、知事・県議選に際して実施した広報活動についてお伺いします。

あなた自身が、直接、見たり、聞いたりしたものを、以下の選択肢の中から全てお選びください。

【参考】「岩手を語ろう。」をキャッチフレーズとして、別添デザインのポスターやチラシ等を作成して広報に活用しました。

- ①テレビ CM ②特設ホームページ「岩手を語ろう。」 ③ラジオ CM ④Facebook 広告 ⑤Instagram 広告  
 ⑥YouTube 広告 ⑦県公式 YouTube の動画配信 ⑧駅構内、商業・公共施設等の広報ポスター  
 ⑨広報チラシ ⑩電車の中吊り広告 ⑪県選管 X (旧 Twitter) ⑫県選管 Facebook  
 ⑬見ていない ⑭分からない、忘れた ⑮その他 ( )

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
88	9	32	3	1	3	2	40
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
71	0	2	2	25	15	3	



※回答対象者 147 名が各項目を選択した割合

<⑮その他の回答内容>

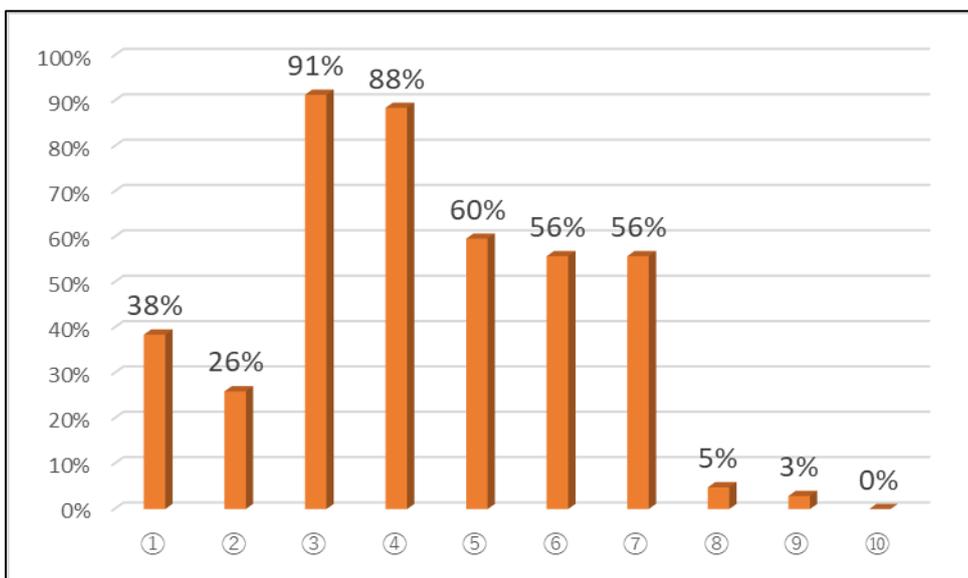
- 子どもを連れて行くと記念品が貰えるというチラシ
- 街頭演説
- 新聞 SNS

問6 問5で、知事・県議選に関する岩手県選挙管理委員会等の広報活動について、1つ以上、直接、見たり、聞いたりしたものがあ、とお答えいただいた方にお伺いします。

問6-1 知事・県議選に関する岩手県選管等の広報活動を通じて知ることができた情報として、当てはまるものを以下の中から全てお選びください。

- ①投票の方法、候補者の選び方について
- ②選挙の意義について
- ③投票日が9月3日であること
- ④今回の選挙が知事・県議選であること
- ⑤期日前投票が可能であること
- ⑥岩手県知事選挙の期日前投票期間が8月18日から9月2日であること
- ⑦岩手県議会議員選挙の期日前投票期間が8月26日から9月2日であること
- ⑧岩手県選挙管理委員会の SNS アカウントがあること (X (旧 Twitter)、Facebook)
- ⑨当てはまるものはない。
- ⑩その他 ( )

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
40	27	95	92	62	58	58	5	3	0



※回答者対象者 104 名が各項目を選択した割合

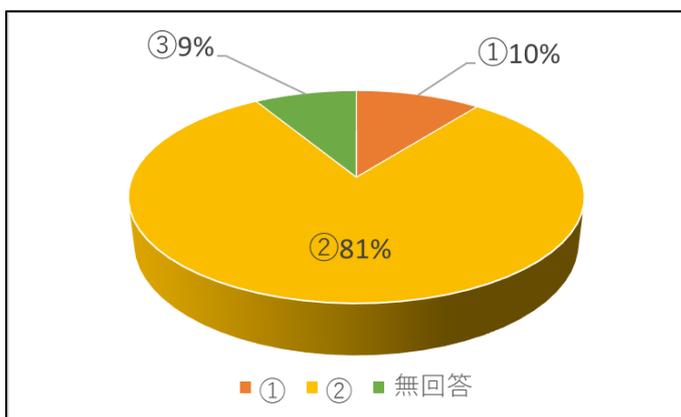
問6-2 今回の岩手県選管等の広報活動からは得ることができなかつた情報で、知事・県議選に関して広報が必要だと思うものがありましたか。ある場合、それはどのような情報ですか。

- ① ある
- ② ない

↳ 必要な情報の内容 ( )

①	②	無回答
11	84	9

※回答対象者 104 名を総数とする



<①ある…必要な情報の回答内容>

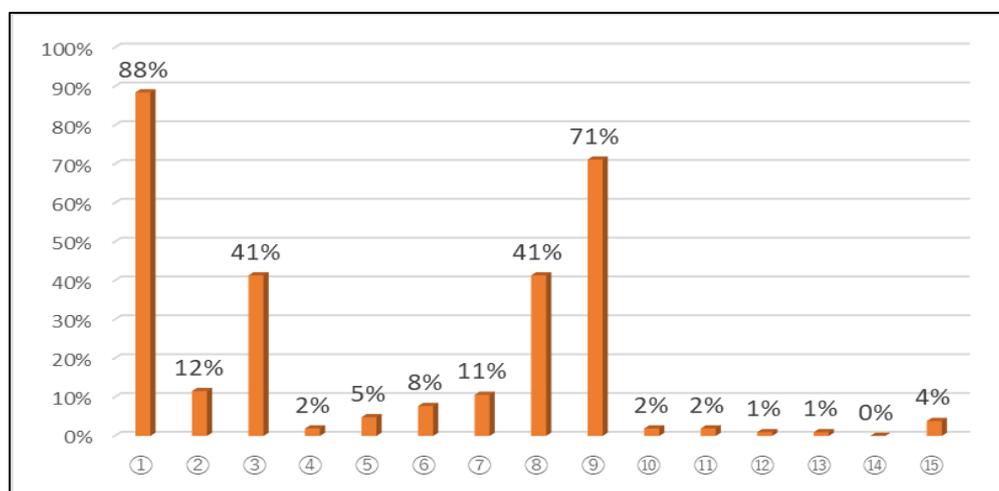
- 候補者の主張、公約
- 公約等、立候補者の意志等
- 立候補者が育ってきた環境に対する思い（本人からの申告）
- 旧統一教会の状況
- マニフェスト
- 移動投票所(バス)があること　そこで期日前投票ができること
- 期日前投票の始まる日にずれがあることの周知が弱いと思う
- 候補者に関する情報（2件）
- 選挙を知ってもらったところで元々関心無い人には意味がない。なぜ必要なかを浸透させることが必要。
- 自分の地区から何人当選するか
- 候補者の街頭演説会の日程、特に県知事候補者
- SNS

問6-3 知事・県議選に関する岩手県選管等の広報のうち、県民の皆様への広報の手段として効果的だと思うものを3つまでお選びください。

(あなたが直接、見たり、聞いたりしたものでも構いません。)

- ①テレビCM ②特設ホームページの開設 ③ラジオCM ④Facebook 広告 ⑤Instagram 広告  
 ⑥YouTube 広告 ⑦県公式 YouTube の動画配信 ⑧駅構内、商業・公共施設等の広報ポスター  
 ⑨広報チラシ ⑩電車の中吊り広告 ⑪県選管 X (旧 Twitter) ⑫県選管 Facebook  
 ⑬見ていない ⑭分からない、忘れた ⑮その他 ( )

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
92	12	43	2	5	8	11	43
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
74	2	2	1	1	0	4	



※回答者対象者 104 人が各項目を選択した割合

<⑫その他の回答内容>

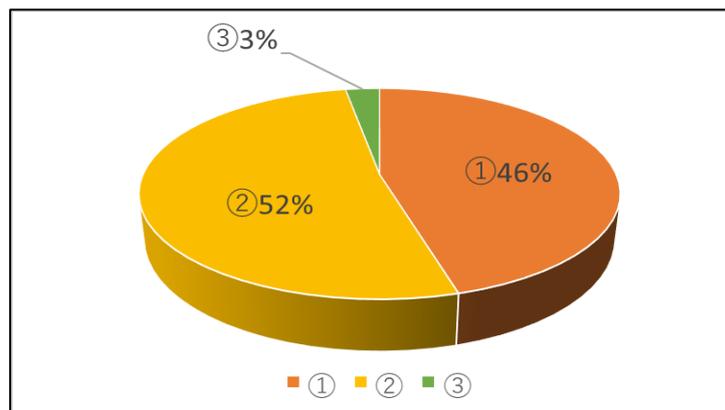
- 新聞紙面広告
- 投票ハガキを見開きの大きさにして中に PR 文言を記入する。
- 公示日の次の日には広報が届いている事
- 選挙掲示板で充分。興味ない人は知ろうが知りまいが来ないから宣伝費無駄。
- チラシを各家庭に配る

問7 岩手県選管等では、コロナ禍以前は、拡声器を搭載した広報車での投票の呼びかけや街頭でチラシやポケットティッシュ等を配布するなどの広報活動を行っていましたが、近年では、令和3年衆院選以降、新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、このような広報の実施を見送り、テレビCMやインターネット広告などに重点を置いています。

(1) 選挙管理委員会の広報車による投票率アップのための広報活動についてどう思われますか。(候補者が選挙運動用自動車により行う選挙運動についての質問ではありません。)

- ①実施したほうがよい
- ②実施しなくてよい
- ③その他 ( )

①	②	③
67	76	4



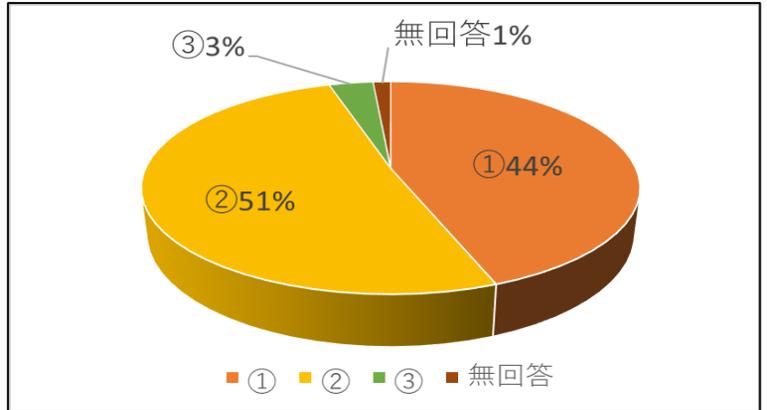
<⑬その他の回答内容>

- 対象地域を全クリアできればそのまま継続しても OK
- 候補者の広報をいち早く各家庭に届けて欲しい
- 広報車の効果がどれほどあるのか疑問である。自分は選挙には必ず行くので、「うるさいだけ」と感じている。
- 広報車ではしっかり聞きとれない。流し放し!

(2) 選挙管理委員会によるショッピングセンターや街頭でチラシやティッシュを配るなどの広報活動についてどう思われますか。(候補者による街頭演説等の選挙運動についての質問ではありません。)

- ①実施したほうがよい
- ②実施しなくてよい
- ③その他 ( )

①	②	③	無回答
65	75	5	2



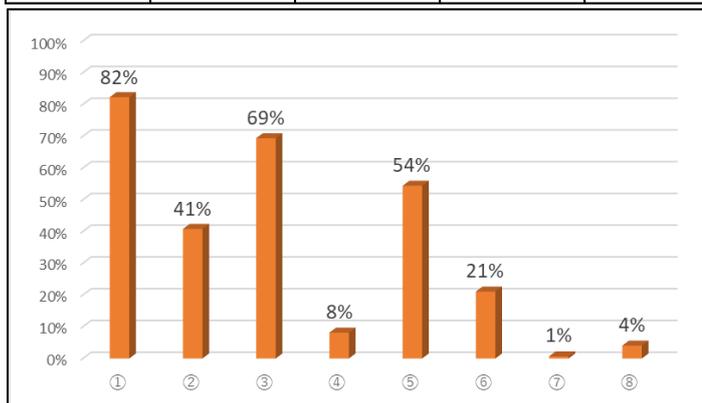
<③その他の回答内容>

- ティッシュは不要で、チラシのみがよい
- チラシの内容としては期日前投票をもっとアピールしていいと思う。配る場所に高校、改札口、バス停など
- ティッシュを配るなら広報と一緒に配る。全戸に！！
- 呼びかけをした場合と何もしない場合の投票率に有意差があればやった方がよい。
- 期日前投票所の建物内や敷地内で、本日ここで投票できることを周知することは効果が見込まれるので実施しても良いと思う。
- テレビのニュースで取り上げてほしい (いろんな角度から)

問8 あなたは普段どのような方法(媒体)で情報を入手していますか。以下の中から当てはまるものを全てお選びください。

- ①テレビ ②ラジオ ③新聞 ④雑誌 ⑤スマホ、タブレット等でのインターネット
- ⑥パソコンでのインターネット ⑦特にない
- ⑧その他 ( )

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
121	60	102	12	80	31	1	6



※回答対象者 147 名が各項目を選択した割合

<⑧その他の回答内容>

- 選挙に携わっているため情報は早い。
- 友人、本
- 知人やサークル等
- 公共施設などに置かれたチラシ
- 広報
- ティッシュを配っても選挙に投票に行くかどうかとは別の話になると思うので経費の無駄使いにならないければと心配です。投票率のUPに確実に繋がれば別ですが。

問9 投票率の向上に向けてどのような啓発の取組が必要だと思いますか。御意見・御要望等を御自由にお書きください。

<回答内容>

- 広報の問題ではなく、選びたい人材がいるか？だと思ふ。
- 生徒・学生時代からの教育、子供と親の会話。
- 選挙の位置づけや重要性をわかりやすい表現で広報したほうが良いと思います。
- 今回、知人に「投票に行く？行かない？」と話題にして感じたのですが、選挙管理委員会からの投票の呼びかけを職場や近所などの下部組織で広める工夫があっても良いと思いました。知っている人や身近な人から勧められた方が効果があると思います。
- 候補者の方々の政策・方針を比べてみる事ができる1枚のポスターが目につけば、投票に行ってみようと思うかもしれない。
- 高齢者向けに対策を重点的に（交通手段、場所等）若者への関心のある取り組み（学校等で）
- 移動投票所を行い、高齢者で移動手段がない方、障がい者など誰でも自宅の前で投票できるようにする。選挙時に投票する事は、家庭教育だと思ふ。家族、親が投票する姿をみせたり、選挙時に投票する事を教えることが大切である。選挙は、教育と思ふ。
- 今までの広報活動を行ってきたことで、実際に投票率が上がってきているのか疑問です。「投票日は何日です」と言うような広報活動はほとんど無意味で、いくらチラシを貰ったところで投票の意欲には繋がらないと思ふ。また、投票会場へ行くこと自体が億劫で、インターネット投票への移行に予算を注ぐことの方がよほど投票率の向上に効果的だと思ふ。広報活動については、各候補者の違いがいまいち把握できないので、動画等の媒体で政策・主張を流布することが大切ではないかと思ふ。よほどの好評・悪評がたたない限り、誰に投票しても同じと言う感覚がある。
- あなたの一票で日本、世界の政治はどうなる！？
- 多数決以外の方法が思いつかない。多数決の間違いで第二次世界大戦が起こった事や、選挙運動と大切さを教える教育がもつとなされるべきだ。システムとしての選挙より、モラルとしての民主主義の大切さを教える時間を教育の中で実行しても少数意見も生かされない子供社会生活の中で参加意欲が失われているのではないか。

努力が報われなくても努力する機会をもっと学ばず、スポーツや文化活動を教育の中で体験させるべきかと思っています。

●残念ながら投票率が毎回下がっている。年齢層がひくい人種選挙に意味をもたない。「なぜか」そこを解決しなければならないと思う。ひとつは議員（県、各市町議共）の活動が有権者にみえない。どこの部分がどうはたっているか。何かで見える化した方がいいと思う。皆で真剣に考えていかなければならないのでは！！

●広報というより議員が真剣に政治をしないと投票率は上がらないと思います。今まで何度も選挙行きましたが暮らしは苦しくなっていくばかりです。国民への投票率向上の広報より議員に対して国民のための政治をするように広報を出した方がよいのではないのでしょうか。

●「投票しても世の中が変わらない」「自分ひとりが投票に行かなくてもいいや」を社会に不満があっても、上から直してもらえるとという他人依存の姿勢が若い人に垣間見れる。”自分達がやってこそその社会改革”というアピールを！

●短い時間（30秒～1分くらい）の動画に収めて説明などをするほうがいいのかもしい。

●知事たちはテレビ等で同じ質問に対しての考え方の違いが見えて、どの候補をと考える参考になれているのですが、県議選はいまだ何を基準にしているか迷ってしまいます。議会だよりを参考にしていますが、成果がわかりません。期日前投票ができて、すごく助かるのですが、候補者の人となりを考えたい時に回ってくる広報より先に期日前投票をしている人も多いのでは？

●期日前投票はショッピングセンターで出来るし、わざわざではなく、ついでに投票できるので有難い。

●広報活動は関係ないと思います。・学校での教育等で政治・選挙への関心を高めるべきだと思います。

●新聞をうまく活用してもいいのでは？情報があるとうれしい。

●ガソリンスタンドやコインランドリーでの広報活動も効果があるように感じる。待ち時間があるため。またガソリンスタンドではFMラジオが流れていることが多いので、声や音による広報もフルに活用したらよいのではないか。投票率をあげるには、それをするのが毎日ごはんを食べることのように当たり前のことであり、日常生活の一部であると認識してもらうことがたいせつだと思う。そのベースは幼い頃からの学校教育が担うという認識ではあるが、学校を離れて社会人として働き、毎日の暮らしでいっぱいになる大人にこそ必要なのだと考える。誰かのせいにはしない主権意識のある暮らし。じぶんがこの社会をつくっているのだという意識をどれだけ大人がもつことができるか。チラシなどのデザイン性が高まることで、若い層にも届きやすくはなると想像するが、税金の無駄使いだと感じさせないラインを保ってもらいたいとも思う。

●家族等で選挙は投票に行くべきと話題にする。

●郵便投票やネット投票など投票所に出向かなくとも気軽に選挙ができることが投票率や政治参加につながると思う。

●すでにあるか分かりませんが、国税庁が作成している、小学生向けの税金の使われ方アニメ「マリンとヤマト」のような物を作成して、選挙の大切さを小学生から学ばせるのがあればよいと思います。

●過去の選挙の男女別や年代別の投票率を示して投票を促すのはどうでしょうか？

●課題の多い県なのに投票率が低いのは残念です。学生は学校で、労働者は職場で、高齢者は地域のコミュニティで、話題にしやすい資料をもとに、話題にする機会があると意識も少しは高まると思う。全体にただばらまいても、一人一人の意識の向上にはつながらない。やった感ではなく、次の選挙へもつながる意識づけの方

法を工夫してほしい。

●県政の方向は、議会で決定されると思うので、議会での発言の結果や議員さんの真剣さを身近に感じられる情報があれば良い。わかりやすい県政を求め、テレビ、動画は良いと思う。

●期日前投票期間中に今回宮古でのバスを利用したこと、とても良い事だと思います。交通便利を考えたら投票に行く人も多くなると思います。

●選挙権年齢 18 歳となり、高校でも選挙にかかわる広報活動と教育をしている現状での投票率低下（特に若い世代）は危惧しています。投票所へ行かなくても簡単に投票できるシステムを考えないといけないのかな？と思っています。

●期日前投票ができる事や、近年行われている移動投票所（車）等を、高校生や若い世代に広く知らせる事が必要だと思う。

●投票をしたらポイントを付加するとか、商品券を配るとかで確実に投票率は伸びると思います。

●期日前投票の場所を増やす

●学校と連携して中高生への啓蒙活動は必要だと思う。足の悪いお年寄り向けの移動投票所は良いアイデアだと思った。事情があって家から出られない人、病院に入院中の人などもあると思うので、個別訪問型の投票所があっても良いと思います。

●投票率の低下を残念に思っています。ポケットティッシュの配布は投票に行った人に「投票した人へのお礼」として配布するのはどうでしょうか。ありがたいメッセージがあって、投票した人にお得感があれば、また行ってみようと思う人もあるのではと思います。

●寝たきり老人が増えると確実に投票率が下がるので、病院や老人施設に職員が行き、しっかりしている人に投票させるようにする。

●現在の選挙制度は、国から国民に付与したものでなく、戦前から国民の戦いの上に勝ち取った制度であることを認識させるべきである。

●運営について、若い人の意見を取り入れる。

●テレビ CM、ラジオなどのメディアを使って広報と市町村広報での広報活動、若年者に対しては選挙へ行った方へ何らかの特典などを設けるなどした方が良いと思います、

●アニメやお笑い芸人等を使って、若者向けに投票に行くよう促す CM を作って、沢山放映してはいかがでしょう。選挙公報をもう少し興味を持てるようなものにする事も考えてみてはどうでしょうか。今回のものは、私でも、あまり読んでみたくなるようなものではありませんでした。カラーにするとか、写真等を入れるとか、視覚に訴える事も大事ではないでしょうか。若者が、興味を持つような内容にする事が必要だと思います。

●18 才に引き下げられたため、中・高校から道徳で必要性の教育が必要と思う。もしかしたら今の若い先生は”キケン”しているのではないかと思ってしまう。

●若者向けの PR。大学などに重点的に。

●投票する意義について、新聞広報で地元新聞を通じて、一面を使って県民に周知してほしいです。

●SNS を使った広報がいいのではと思います。

●1 票の大切さが目に見えてわかるような説明。一人くらい行かなくてもと思わせない動機づけが必要と思う

●今回のように知事、県議選が同時期の場合は、いわてグラフで臨時（特別版）で発刊すべきだ。上記の選挙

の盛り上がりがないと思う。したがって投票率も低迷していると思う。選挙は重要です。広報活動が重要だと思います。

●人それぞれだと思うので一概にこれとは決めきれないが、比較的 SNS を活用した方がより多くの県民に触れる機会があると思う

●小学校、中学校、高校で選挙に関する授業をする。テレビ、ラジオに候補者を出演させて選挙特番をやる。

●自分一人が選挙に行ったところで何も変わらないと思って行かない人も多いと思うから、一票の重み、選挙に行く意味を伝える CM があるといいと思う

●テレビやポスターがやはりアナログですが、何度も放送した方がいいと思う。固い話ばかりでなく、高校生くらいには興味を持ってもらえるような、参加すると楽しい岩手がつくれるんだということを知らせるようにしては？！

●投票日、場所

期日前投票期間、場所を圧を感じるほどに繰り返し広報する

移動投票所(バス)をもっと増やす。

場所は、高校、大学などの学校、市町村の僻地など

イメージは移動販売車 音楽を鳴らしながら来たことをアピールする 移動販売車と一緒にいいかも 買い物に来たついでに投票できる 事前にしっかり広報をする

投票券がなくても投票できることをもっとアピール

候補者の名前、顔、公約を sns で発信

選管が出している紙媒体と同じで良いので 県、各市町村の広報と連携して発信してはどうか

学校や職場では、投票できる時間を勤務時間内、在校時間内にもうけるようにすることを努力義務くらいにできないのか

●今回のような場合は期日前投票の日にちをそろえてほしかったです

●選挙権の年齢が引き下げられたと言われても、岩手県では、18 歳から 20 歳までの世代は投票率は低いような気がしますので、啓発活動を続けるべきだと思います。

●投票所に行くまでに家から移動することと、日時とそのタイミングに合わせることに抵抗がある人もいると思う。期日前投票の投票所の場所を増やすことや、ネットで投票ができるようにする。法律改正が必要だと思う。

●もっと多くテレビやラジオなどでのメディアで多く選挙をやっていることをもっと回数を多く広報をしていくとよいと思う。

●投票しないことで想定されるデメリットを明確に知らせることが良いかと思います。また、広報とは話が逸れてしましますが、そもそも、投票の方法を変えることが出来ればよいと思います。期日前に学校で投票が出来るとかネット投票(課題はいろいろあるかもしれませんが・・・)が出来るとか。

●それぞれ家庭での選挙に対する教育が大切だと思う。

●期日前投票の場所・期間のお知らせを地域の広報誌等にも掲載した方がいいと思う

●選挙公報が届くのは遅いので期日前投票の方は広報が来る前に投票しに行っているのが散見されます。公示日の翌日に届くようにしてもらいたいです。

- 義務教育中の子どもを持つ親への子供を通して広報活動。高校・大学での広報活動。
- 広報の取り組みは十分だと思います。支持政党があるとか、ないとか、いろいろ選挙権のある大人の問題だと思います。
- 投票所に来た人にティッシュペーパー1個を配る（選挙広報入）
- テレビCMが一番効果的なのではないかと思います。若い方向けにSNSの活用も良いと思います。
- 若者が関心を持つ媒体は何か分からないが、調査、研究を続けてほしい。
- 候補者に会えてないし、様々なことを聞きたい。そもそも、このアンケートをどう活かすか示してほしい！！ポスターに掲示板にそもそも公示日が書かれていない。イコール期日前投票期間が不明！！投票日だけでは情報不足！！期日前の案内と公示日記載で周りの状況から1%程度投票率は上がると思う。
- 最近、期日前投票をする方が多くなったような気がします。その利点をみなさんに広くお知らせしたほうが良いと思います。
- なぜ選挙が必要なのか、固くなり過ぎずに伝える事が必要。投票率の高い北欧などの国を参考にするといいと思います。また、子供の内から学校等で選挙の重要性を学ぶ機会が必要だと思います。
- メリットがないとなかなか足が向かない。宣伝費かけるより投票した人には後日抽選で県産品があたるとか、投票したら出口でおふるまいか何かもらえるとかなの方がよっぽど集まる。
- CMなどで継続的に選挙の必要性を伝えていくといいと思います。
- 若者向けに選挙と投票行動の重要性について繰り返し広報を行うことが大事と考えます。
- 政策はもちろんだが、立候補者をもっと掘り下げた特集があれば興味が出るかもしれない
- 教育かな。小学校から選挙の大切さを少しずつでも教えていたらいいと思います。18才になる高校生に急に言うよりも。小学生や中学生の子どもが、選挙の大切さを親に言って、選挙にちゃんと行ってって言えたらいいなと思いました。若い世代もですが、子育て世代の投票率が上がるといいと思いますね。
- 選挙広報とTVとラジオが自分としては便利だと思います。あとは、それぞれの世代によって情報のとり方が様々なので、人それぞれで意見が分れるのではないのでしょうか。
- 最近の政治による政策で全般にですが、生活が良くなっていない。投票に行っても期待出来ないからだと思います。（例：原発の処理水の問題等）
- 選挙割などを行っているところもあるので、県や市町村とも協力して投票率を上げるようにしたらいいと思う。また、知事や議員の人が普段どのような活動をしているのか、どのような政策を考えているのか分かりにくいので、そこを分かりやすく工夫して広報を行って、県民が身近に感じられるようにしてほしい。
- 例えば、岩手県内のどこでも投票できる。としたら、買い物ついでにスーパーで・・・など、気楽だが、投票所、期日前投票所も遠く、人口の少ない町村などではほとんど人が居ず、自分ひとりだけ。ということがよくある。選挙は正直もっともDXが進んでいないと思う。
- 広報車は騒音迷惑なのでやめてほしい(もしくは午前中だけにする)が、ティッシュを配るのはいいと思う。若い人の投票率は毎回当選に反映されないと余計どうでもよくなるのでお年寄りより若い人に向けた政治や投票に力を入れたほうが良いと思う。
- 室内、県民会館等で立会演説会をやってもらいたい。落ち着いて考えを聞きたい。TV中継も有。

●この質問は本気でそう思って質問されてるか疑問です。広報の取組が起因として投票率が低下している事はないと感じています。もっと本質の部分(身近な部分に効果の有る政治)を実行し、県民の皆さんが政治により生活が豊かになる事が実感出来るようになると、皆さんの関心も高まり、投票へ行く事に繋がると思われます。

●分かりやすいチラシデザイン ポップな感じの方が目を引くし、パッと見わかりやすいから細かい字体だと見る気が失せるので、大きめの字で一瞬で興味をそそる内容がいい。文字数が多いと内容か逆に伝わりにくいし、短い文章の中に凝縮された内容があると気を引きやすい。

●選挙広報にはお金をかけないでほしい。1.選挙ポスターの廃止を 2.選挙広報の廃止を

●投票しない人は、自分一人が投票しても投票しなくても、政治(世の中)は変わらないと考えている人が多いと思うので、「投票するとういことがある」とか動機づけが必要であると思うが、難しいことである。

学校教育で、民主主義の基本であることをしっかり教えていく必要があると思う。私は、自分の納めた税金の使い道をいい加減にしてもらいたくないと思って、毎回投票に行っている。

●若者向けの広報活動を工夫して、どうすれば良いかを真剣に考えること！これからの岩手をもっとアピールする努力を！県議会の傍聴に若者を参加させる。

●期日前投票の宣伝、学校教育、投票時間の繰り上げ 17:00 まで

●投票所(場所)の見直し、追加 現在の投票所は公民館、体育館、交流会館等一般的には利用頻度の低い施設に自治体で指定された投票所へ、わざわざ出向き投票しているのが現状です、プラス新たに共通投票所を開設する、若年層、高齢者も出入り(利用している)駅、バスセンター、ショッピングセンター等を利用、自由に選択させる。投票管理は今やデジタル時代です確認、集計も容易なことと思います。、、、公職選挙法等に抵触するのでしょうか

#### 提言

デジタル庁も発足しアナログからデジタル(処理)社会に移行しつつあります、例えばマイナンバーカードの普及による健康保険証、銀行口座の括り付け個人情報の管理等、共通データにより各種事務処理、作業等が短時間に処理される便利な時代が到来することと思います。そこで今の選挙制度で国、県、地方自治体にかかわらず候補者の選挙ポスターベニヤ掲示板の設置が義務付けられているようです、かなり高額な費用との事、今や情報媒体も多く広報誌、新聞、テレビ、ラジオ、ネット等情報量も満載です、有権者も今は立ち止まってポスター掲示を見ている通行人は皆無です、選挙の都度、高額な費用をかけ設置することが必要とは思われません無駄です、公職選挙法含め改善が必要になると思います?、旧態依然。無駄 世間(国)はアナログ社会からデジタル社会へと移行(推奨)しているのではないのでしょうか

●自分たちの身近な問題なんだとの認識を持って貰う。政治はあくまでも政治家ではなく国民なんだという認識を持って貰う。

●ラジオでのスポット番組。

●選管の活動は充分だと思います。投票しないのは、政治に対する不信感です。政治とは国民を幸福にするためのもの。与党が、自らの党勢拡大に税金を私物化するような政策では国民は納得しない。岩手県の指標「幸福度」いいですね。知事頑張って、応援してます。

●選挙が自分達の生活にどのように関わってくるのかの見える化、意識付け。投票に行くことでプラスになる取り組み。割引券の発行等

- 日常的に政治に関心を持ってもらう取り組みが必要で、一票で政治内容を変える事ができる！という思いを伝えたい。
- 知事選の時のように可能な限り立候補者同士の討論の場を持ち、その上で広報活動をしていくというのはどうでしょうか？また、学校教育の場でも一票の重みを考えさせる啓発活動に真剣に取り組み、他の国々の高校生たちがどのように考えているか情報交換をしていくことも重要だと思います。
- 若い人の投票率が低いため、若い人をターゲットとした活動を増やしてほしい。
- 投票した時、ショッピングセンターで選挙割でお得と、券をもらったが使い勝手が悪く、結局、全く使えない。むしろ投票した人にティッシュ1ケとか配って貰ったほうがよっぽどいい。ポスターとかにお金をかけるより投票すると何かもらえとか、もっと使い勝手のいいメリットの品とか。そちらにお金をかけたほうがお得感がある。
- 良い取り組み。
- よくわからない
- 思いつかない